

みんなで考えよう！

公共施設の未来

vol.7

企画政策課経営管理係

☎ 0562・92・8318

公共施設マネジメント講演会を開催しました

1月22日に文化会館小ホールにて東洋大学の南学客員教授をお招きして『公共施設マネジメント「拡充」から「縮充」への発想転換』をテーマに講演会を開催しました。市職員はもちろん、市民や近隣市町の職員も多く参加し、関心の高さを感じました。

講演の内容は、

●公共施設の老朽化は時限爆弾

建築後50年を過ぎた施設は導火線に火が付いた状態だが更新費用は確保されていない。

●公共施設等総合管理計画

国が策定を要請しており、総合的な観点から施設の管理運営が必要である。

●公共施設の稼働率は低い

学校のスペースは広大だが、稼働率は17%程度。防災拠点として、また地域活動の拠点として有効利用できる。

図書館の本の貸出サービスを利用している人は貸出登録者の1割程度の人で、偏った利用形態になっている。貸出だけなら無人図書館、自動貸出機という方法もある。また、図書館は本の貸出のほかに学習や交流など多くの機能を持っている。施設の機能についての議論すべき。

●公共施設マネジメントの方程式

面積圧縮だけではなく民営化や受益者負担見直し、遊休資産活用など複数メニューで対応する必要がある。

●これからの行政サービス

限られた財源を、福祉や防災、教育など、どの分野に配分するか。市民による選択が提起されている。福祉・防災・教育は欠かせない。土木インフラも削減できない。公共施設は、規模を縮小してもサービスや機能を拡充することが可能である。公共施設のあり方について考える必要がある。

豊明市の公共施設マネジメントはいよいよ再配置計画の策定に入ります。

施設の「縮充」について、これから市民のみなさんとともに考えていきます。

